

テーマ 「We Love 南原」

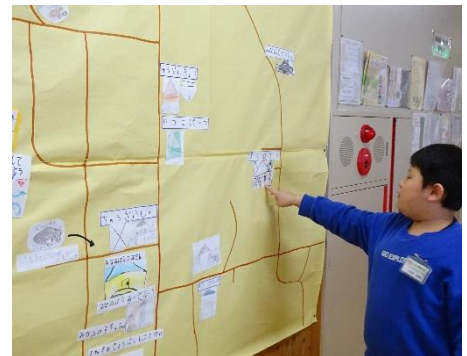
～地域題材を生かした、ワクワク・ドキドの授業（指導方法）～

『南原しらべ』



主な内容

- 1 昨年度、社会科として「学校の周りの地域を調べ、地図に表す」活動を知的障がい学級の児童達と行った。今年度は、それを学校スローガン「We Love 南原」とタイアップさせ、両学級それぞれに、生活科・生活単元学習・総合的な学習を中心とした「地域調べ」として行い、また、国語科・算数科・社会科の学習とカリキュラムマネジメントした学習活動に展開した。
- 2 ① 春 →
 - ・学校の近くを「地域探検」して大きな地図に書き入れた。
 - ・表示を書くことは、文字を学習するモチベーションにつながった。
 - ・地域探検をしながら見つけたことについて、ミニ作文にした。
- ② 夏 →
 - ・春とは別の方角の学校の近くを「地域探検」し、新たに見つけた家や地域の施設を地図に書き加えた。
- ③ 秋 →
 - ・「地域探検」の地図や作文などを、特別支援のお店「すさっぷ」の際の「わかすぎ・わかくさクイズ」に使い、自分達が調べたことをみんなに発信するとともに、自分達の学びを振り返った。
 - ・「地域探検～南原調べ～」の一環として、地域で行われていた「ミナミハラアートウォーク」に出かけ、コミュニティーセンターや地域の施設に展示してある造形作品を鑑賞したり係の方と触れ合ったりした。
 - ・「地域探検」で地域の名産である「そば」を自分達で作る体験をした。昨年に続き2回目の今年、作り方やそばが南原の名産であるわけを調べ、また自分達で電話連絡し体験の依頼をしてから出かけた。お店の方とのかかわり方も前よりずっと上手になった。
- ④ 冬 →
 - ・米沢のお祭り、「雪灯籠祭り」を知り、学校でろうそくを作ったり、雪ぼんぼりを作ったりして楽しんだ。



まとめ

様々な活動を「自分ごと」になるように工夫して展開し、指導にあたっている。子ども達からは「～の近くにあった紙工場に行きたい」「来年もそばを作りたい」「みんなに発表したい」などの声が出ている。また、廊下に掲示した地図や調べたものを通りがかった児童が興味深く眺めている姿があった。インクルーシブの観点での成果も感じられた。

